



既知の制限事項 Cloud Volumes ONTAP release notes

NetApp
February 11, 2026

目次

既知の制限事項	1
すべてのクラウドプロバイダーにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限	1
サポートされていないONTAP機能	1
最大同時レプリケーション操作数	2
クラウドプロバイダーのスナップショットは、バックアップおよびリカバリ計画には使用しないでください。	2
Cloud Volumes ONTAPは、予約済みおよびオンデマンドのVMインスタンスのみをサポートします。	2
自動アプリケーションリソース管理ソリューションは使用すべきではない	2
ソフトウェアアップデートはBlueXPによって完了する必要があります	2
Cloud Volumes	2
ONTAPのデプロイメントは、クラウドプロバイダのコンソールから変更することはできません。	
ディスクとアグリゲートはBlueXPから管理する必要がある	3
SnapManagerライセンスの制限	3
サードパーティのエージェントと拡張機能の制限	3
AWS におけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限	3
AWS Outpost の制限	3
フラッシュキャッシュの制限	3
Amazon CloudWatch によって報告された誤報	4
Cloud Volumes ONTAP HAペアは即時ストレージギブバックをサポートしていません	4
Azure のCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項	4
Azure VM拡張機能の使用に関する制限	4
フラッシュキャッシュの制限	4
高可用性展開の制限	4
単一のアベイラビリティゾーンにおけるHA展開の制限	4
Google Cloud のCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項	5
パケットミラーリングの制限	5
Google プライベート サービス コネクトの制限	5

既知の制限事項

すべてのクラウドプロバイダーにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限

今回のリリースでサポートされていない、または今回のリリースでは正常に機能しないプラットフォーム、デバイス、機能が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

次の制限は、すべてのクラウドプロバイダー（AWS、Azure、Google Cloud）のCloud Volumes ONTAPに適用されます。

サポートされていないONTAP機能

次の機能はCloud Volumes ONTAPではサポートされていません。

- 集約レベルのインライン重複排除
- 集約レベルのバックグラウンド重複排除
- ディスクメンテナンスセンター
- ディスク完全消去
- FabricPoolミラーリング
- Fibre Channel (FC)
- フラッシュプール
- Infinite Volume
- インターフェイス グループ
- ノード内LIFフェイルオーバー
- MetroCluster
- マルチ管理者認証

Cloud Volumes ONTAPでマルチ管理者検証を有効にすると、サポートされていない構成になります。

- RAID4、RAID-DP、RAID-TEC（RAID0をサポート）
- Service Processor
- SnapLock Complianceおよびエンタープライズ モード (Cloud WORM のみサポート)
- SnapMirror Synchronous
- VLAN
- SMB 継続的な可用性 (CA)

"[継続的な可用性を備えたSMB共有](#)" 中断のない運用はサポートされていません。

最大同時レプリケーション操作数

Cloud Volumes ONTAPの同時SnapMirrorまたはSnapVault転送の最大数は、インスタンスタイプやマシンタイプに関係なく、ノードあたり 100 です。

クラウドプロバイダーのスナップショットは、バックアップおよびリカバリ計画には使用しないでください。

Cloud Volumes ONTAPデータのバックアップおよびリカバリ計画の一部として、クラウドプロバイダーのスナップショットを使用しないでください。Cloud Volumes ONTAPでホストされているデータをバックアップおよび復元するには、常にONTAP Snapshot コピーまたはサードパーティのバックアップソリューションを使用する必要があります。

["BlueXP backup and recoveryを使用してONTAPデータをバックアップおよび復元する方法を学びます"](#)。



WAFLファイルシステムのONTAP整合性ポイントによって、データの整合性が決定されます。ONTAPだけが、WAFLファイルシステムを静止させてクラッシュ整合性のあるバックアップを作成できます。

Cloud Volumes ONTAPは、予約済みおよびオンデマンドの**VM**インスタンスのみをサポートします。

Cloud Volumes ONTAP は、クラウドプロバイダーの予約済み VM インスタンスまたはオンデマンド VM インスタンスのいずれかで実行できます。他のタイプの VM インスタンスはサポートされていません。

自動アプリケーションリソース管理ソリューションは使用すべきではない

自動アプリケーションリソース管理ソリューションでは、Cloud Volumes ONTAPシステムを管理しないでください。そうすると、サポートされていない構成に変更される可能性があります。たとえば、ソリューションによって、Cloud Volumes ONTAP がサポートされていない VM インスタンスタイプに変更される可能性があります。

ソフトウェアアップデートは**BlueXP**によって完了する必要があります

Cloud Volumes ONTAPのアップグレードはBlueXPから完了する必要があります。System Manager または CLI を使用してCloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。システムの安定性に影響を与える可能性があります。

Cloud Volumes ONTAPのデプロイメントは、クラウドプロバイダのコンソールから変更することはできません。

クラウドプロバイダーのコンソールからCloud Volumes ONTAP構成を変更すると、サポートされていない構成になります。BlueXP が作成および管理するCloud Volumes ONTAPリソースに変更を加えると、システムの安定性とBlueXPのシステム管理能力に影響する可能性があります。



初期展開後、Cloud Volumes ONTAPリソースに使用される Azure サブスクリプション名の変更がサポートされます。

ディスクとアグリゲートはBlueXPから管理する必要がある

すべてのディスクとアグリゲートはBlueXPから直接作成および削除する必要があります。これらのアクションを別の管理ツールから実行しないでください。そうすると、システムの安定性に影響が及び、将来的にディスクを追加する能力が妨げられ、クラウド プロバイダーの料金が重複して発生する可能性があります。

SnapManagerライセンスの制限

SnapManager のサーバーごとのライセンスは、Cloud Volumes ONTAPでサポートされています。ストレージシステムごと (SnapManagerスイート) のライセンスはサポートされていません。

サードパーティのエージェントと拡張機能の制限

サードパーティ エージェントと VM 拡張機能は、Cloud Volumes ONTAP仮想マシン インスタンスではサポートされていません。

AWS におけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限

次の既知の制限は、Amazon Web Services のCloud Volumes ONTAPに固有のもので、必ず確認してください"[すべてのクラウドプロバイダーにおけるCloud Volumes ONTAPの制限](#)"。

AWS Outpost の制限

AWS Outpost がある場合は、作業環境ウィザードで Outpost VPC を選択して、その Outpost にCloud Volumes ONTAP をデプロイできます。エクスペリエンスは、AWS にある他の VPC と同じです。最初に AWS Outpost にコネクタをデプロイする必要があることに注意してください。

指摘すべき制限がいくつかあります。

- 現時点では、単一ノードのCloud Volumes ONTAPシステムのみがサポートされています。
- Cloud Volumes ONTAPで使用できるEC2インスタンスは、Outpostで利用可能なものに限定されます。
- 現時点では汎用SSD (gp2) のみがサポートされています

フラッシュキャッシュの制限

C5D および R5D インスタンス タイプには、Cloud Volumes ONTAP がFlash Cache_として使用するローカル NVMe ストレージが含まれます。次の制限に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP 9.12.0 までの Flash Cache パフォーマンスの向上を活用するには、すべてのボリュームで圧縮を無効にする必要があります。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1 をデプロイまたはアップグレードする場合は、圧縮を無効にする必要はありません。

BlueXPからボリュームを作成するときにストレージ効率を選択することはできません。または、ボリュームを作成してから "[CLIを使用してデータ圧縮を無効にする](#)"。

- 再起動後のキャッシュの再ウォームアップは、Cloud Volumes ONTAPではサポートされていません。

Amazon CloudWatch によって報告された誤報

Cloud Volumes ONTAPはアイドル時にCPUを解放しないため、"[Amazon クラウドウォッチ](#)" EC2 インスタンスの CPU 使用率が 100% であるため、CPU 使用率が高いという警告が報告されることがあります。このアラームは無視できます。ONTAP統計コマンドは、CPU の実際の使用状況を表示します。

Cloud Volumes ONTAP HAペアは即時ストレージギブバックをサポートしていません

ノードが再起動した後、パートナーはストレージを返す前にデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードがダウンしている間にクライアントによって書き込まれたデータの量と、ギブバック時のデータ書き込み速度によって異なります。

["AWS で実行されるCloud Volumes ONTAP HA ペアのストレージの仕組みを学びます"](#)。

Azure のCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項

次の既知の制限は、Microsoft Azure のCloud Volumes ONTAPに固有のものです。必ず確認してください"[すべてのクラウドプロバイダーにおけるCloud Volumes ONTAPの制限](#)"。

Azure VM拡張機能の使用に関する制限

Cloud Volumes ONTAP は、BlueXP管理操作に影響するため、Azure 仮想マシン (VM) 拡張機能をサポートしていません。展開中に、BlueXP はVM への拡張機能のインストールを防止します。既存のCloud Volumes ONTAP VM に拡張機能がすでにインストールされている場合は、Microsoft Azure サポートに連絡して削除してください。ガイダンスについては、ナレッジベース (KB) の記事を参照してください。"[Azure VM Management Extensions を Cloud Volume ONTAPにインストールできますか?](#)"

2025 年 7 月 14 日以降、Cloud Volumes ONTAP VM で VM 拡張機能が検出されると、NetApp電子メールが送信され、BlueXPで通知されます。

フラッシュキャッシュの制限

Cloud Volumes ONTAP は、一部の VM タイプでローカル NVMe ストレージを *Flash Cache* として使用しません。次の制限に注意してください:

- 再起動後のキャッシュの再ウォームアップはサポートされていません。

高可用性展開の制限

一部のリージョンでは高可用性 (HA) ペアはサポートされていません。

["サポートされているAzureリージョンのリストを表示する"](#)。

単一のアベイラビリティゾーンにおけるHA展開の制限

Cloud Volumes ONTAP 9.15.1 以降では、Azure の単一の可用性ゾーン (AZ) に HA モードで仮想マシン (VM) インスタンスをデプロイできます。この機能をサポートする基準については、以下を参照してください。["Azure の単一の可用性ゾーンに HA ペアを展開する"](#)。

Cloud Volumes ONTAP のバージョンが 9.15.1 より前の場合、またはこれらの条件のいずれかが満たされていない場合は、可用性セットを利用する以前の展開モデルが有効になります。これは HA 構成にのみ適用されます。

Google Cloud の Cloud Volumes ONTAP の既知の制限事項

次の既知の制限は、Google Cloud Platform の Cloud Volumes ONTAP に固有のもので、必ず確認してください"[すべてのクラウドプロバイダーにおける Cloud Volumes ONTAP の制限](#)"。

パケットミラーリングの制限

"[パケットミラーリング](#)" Cloud Volumes ONTAP をデプロイする Google Cloud VPC で無効にする必要があります。

パケットミラーリングが有効になっていると、Cloud Volumes ONTAP は正常に動作しません。

Google プライベート サービス コネクトの制限

レバレッジをかけると "[Google プライベート サービス コネクト](#)" Cloud Volumes ONTAP を導入する VPC 内で、必要な宛先にトラフィックを転送する DNS レコードを実装する必要があります。"[BlueXP API エンドポイント](#)"。

現在、Private Service Connect では、Cloud Volumes ONTAP から Google Cloud Storage バケットへのデータの階層化はサポートされていません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。